

## 14 火災による死傷者

【関連章第5章】

### 事例3 「在宅酸素吸入器を使用中にたばこに起因して死者が発生した火災」

出火時分 11月 11時ごろ  
用途等 長屋兼共同住宅 防火造 2/0 延 200 m<sup>2</sup>  
被害状況 鼻カニューレ1等焼損 死者1人  
概要

この火災は、長屋兼共同住宅の1階居室内から出火したものです。

出火原因は、居住者がベッド上で在宅酸素吸入器を使用中、たばこの火源が鼻カニューレに落下し、出火したものです。

ケアマネジャーは居住者の携帯電話から着信があったが出られず、折り返し電話をしました。居住者が出なかった様子を見に訪問すると、室内に煙が充満しておりベッド上で意識のない居住者を発見しました。

上司や訪問医療の医師に電話で状況を伝えたとこ、119番通報を促されたため、自身の携帯電話で119番通報しました。

その後訪問医師により現場にて居住者の死亡（一酸化炭素中毒）が確認されました。

#### 教訓等

この火災は、居住者が在宅酸素吸入器を使用中、たばこが鼻カニューレのチューブ上に落下し穴が開いたことにより、送気されていた支燃性ガスである高濃度酸素が助燃となりたばこの火種が拡大し出火したものです。

酸素吸入器とは、体内に酸素を十分に取り込めない患者に対して呼吸を補助するための機器です。鼻カニューレというチューブを酸素吸入器に接続し、鼻に入れ酸素を吸入します。炎を出さずに燃えるたばこや線香も、在宅酸素吸入器の使用等で酸素濃度が高くなると炎を出して燃えます。火源が鼻カニューレのチューブ等に着火すると、チューブの中を炎が導火線のように燃え進みます。さらに酸素流量が多くなると燃焼が激しくなり、チューブが溶解して着衣に燃え移る危険性が高まり、火災による死傷者が発生しやすくなります。

酸素吸入器を使用したままの喫煙は絶対にせず、火気を近づけたり、近くで火気を使用しないようにしましょう。



写真 14-6 たばこの火源が鼻カニューレに着火する状況



写真 14-7 たばこの火源が鼻カニューレに着火する状況